

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-081344
(43)Date of publication of application : 22.03.1990

(51)Int.Cl. G11B 15/02
G11B 27/024

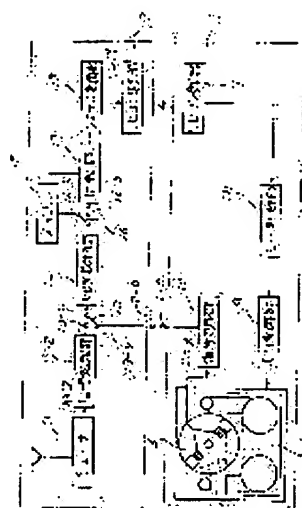
(21)Application number : 63-232402 (71)Applicant : HITACHI LTD
(22)Date of filing : 19.09.1988 (72)Inventor : UCHIYAMA OSAMU

(54) RECORDING AND REPRODUCING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the commercial cut at the time of picture recording, to attain the skip-watching at the time of reproduction and to attain the corresponding to a broadcasting time change by detecting the information immediately before and immediately after a commercial signal and the titles and so forth of the change of the frequency distribution of an ordinary broadcasting and a commercial picture and the change of a program broadcasting time and judging them.

CONSTITUTION: The change (frequency characteristic, switching of a sound multiple signal, sound level, displaying of titles and the like) of a picture recording or a reproducing signal is detected and judged by a judging part (control device 2). Based on the judged result, the action mode of an ordinary magnetic recording and reproducing device is controlled by using a remote control signal (remote control signal). Thus, without needing the transmission of a control signal such as a special code from a broadcasting station side, the correspondence to the cut and skip-watching of the commercial and the change of the broadcasting time can be carried out with a current broadcasting system and the ordinary magnetic recording and reproducing device.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本特許庁 (J P) (12) 特 許 公 報 (B 2) (11) 特許番号
第2858758号

(46) 発行日 平成11年(1999) 2月17日 (20) 登録日 平成10年(1998)12月4日

(51) IntCl ⁴	識別記号	P I
G 1 1 B 15/02	3 5 5	G 1 1 B 15/02
27/024		27/02

請求項の数12(全 11 頁)

(21) 出願番号	特願昭63-232402	(73) 特許権者	990909598 株式会社日立製作所
(22) 出願日	昭和63年(1988) 9月19日	(72) 発明者	株式会社日立製作所 東京都千代田区神田豊町4丁目6番地 内山 修 神奈川県横浜戸塚区吉田町22番地 株式会社日立製作所家電研究所内 井理士 小川 勝男 (外 1名)
(60) 公開番号	特開平2-91344	(74) 代理人	井理士 小川 勝男 (外 1名)
(43) 公開日	平成2年(1990) 3月22日	審査官	後藤 和茂
審査請求日	平成7年(1995) 8月9日	(56) 参考文献	特開 昭62-248154 (J P, A) 実開 昭61-93807 (J P, U) 実開 昭63-24729 (J P, U)
		(58) 審査した分野(IntCl ⁴ , D B名)	G1B 15/02 G1B 27/02

(54) 【発明の名称】 記録再生装置

(67) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 特定番組を含む番組の映像信号と音声信号を処理する信号処理手段と、前記音声信号の変化を検出する音声変化検出手段と、前記音声信号の変化を検出する音声変化検出手段と、

少なくとも前記音声変化検出手段の検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段により検出された切り換え部分検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する検出結果判定手段と、

【請求項2】 前記音声変化検出手段は、前記音声信号の多重化を検出する音声多重化検出手段を備えていることを特徴とする請求項1記載の特定番組識別装置。

【請求項3】 前記音声変化検出手段は、前記音声信号のレベルの変化を検出する音声レベル検出手段を備えていることを特徴とする請求項1または請求項2記載の特定番組識別装置。

【請求項4】 前記映像信号の変化を検出する映像変化検出手段を備え、

前記切り換え部分検出手段は、前記映像変化検出手段の検出結果を用いて番組の切り換え部分を検出することを特徴とする請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の特定番組識別装置。

【請求項5】 前記切り換え部分検出手段は、前記切り換え部分検出結果における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する検出結果判定手段と、

【請求項6】 特定番組を含む番組の映像信号と音声信号を処理する信号処理手段と、

前記音声信号の変化を検出する音声変化検出手段と、少なくとも前記音声変化検出手段の検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段により検出された切り換え部分検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する検出結果判定手段と、

【請求項7】 前記音声変化検出手段は、前記音声信号の多重化を検出する音声多重化検出手段を有していることを特徴とする請求項6記載の特定番組識別装置。

【請求項8】 前記音声変化検出手段は、前記音声信号のレベルの変化を検出する音声レベル検出手段を有していることを特徴とする請求項6または請求項7記載の特定番組識別装置。

【請求項9】 前記映像信号の変化を検出する映像変化検出手段を有し、

前記切り換え部分検出手段は、前記映像変化検出手段の検出結果を用いて番組の切り換え部分を検出することを特徴とする請求項6ないし請求項8のいずれかに記載の特定番組識別装置。

【請求項10】 前記識別手段は、前記切り換え部分検出手段における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する検出結果判定手段と、

【請求項11】 前記特定番組は、コマmercialであることを特徴とする請求項1ないし請求項5のいずれかに記載の特定番組識別装置。

【請求項12】 前記特定番組は、コマmercialであることを特徴とする請求項6ないし請求項10のいずれかに記載の特定番組識別装置。

【発明の詳細な説明】

(図表上の利用分野)

本発明は、記録再生装置に用いられる識別装置に係り、特に録画または再生信号の変化により記録再生装置の動作を切り換え可能とする特定番組識別装置及びその方法に関する。

(従来の技術)

磁気記録再生装置の録画時において、放送時間変更への対応やコマmercialカットを動的に行う方式として、特開昭61-257651号公報に記載のように、放送局側で番組固有のコードを透過し、磁気記録再生装置側でこのコードを受信して、所望の処理を行うようにしたものがあ

【発明が解決しようとする課題】

上記従来技術においては、現行の放送受信システムおよび磁気記録再生装置で放送時間の変更への対応やコマmercialカットなどの処理を行うことは困難であるという問題があった。

本発明は、上記従来技術の問題を解決し、現行の放送受信システムと通常の記録再生装置においても、コマmercial等の特定番組の正しい識別を実現できる特定番組識別装置及びその方法を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために、本発明は以下の構成の装置とする。すなわち、特定番組を含む番組の映像信号と音声信号を処理する信号処理手段と、

前記音声信号の変化を検出する音声変化検出手段と、少なくとも前記音声変化検出手段の検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段により検出された切り換え部分検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する検出結果判定手段と、

また、前記音声変化検出手段は、前記音声信号の多重化を検出する音声多重化検出手段を備えていることを特徴とする。

また、前記映像信号の変化を検出する映像変化検出手段を備え、

前記切り換え部分検出手段は、前記映像変化検出手段の検出結果を用いて番組の切り換え部分を検出する。

また、前記識別手段は、前記切り換え部分検出結果における検出結果が実質的に所定の範囲内であることを検出する。

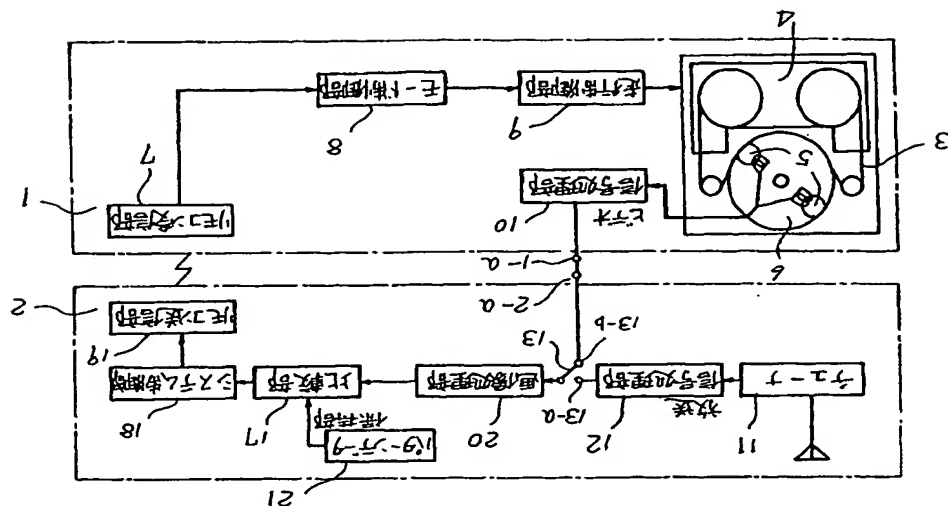
また、前記特定番組は、コマmercialであることを特徴とする。

また、以下のステップを有する方法とする。すなわち、特定番組を含む番組の映像信号と音声信号を処理する信号処理ステップと、

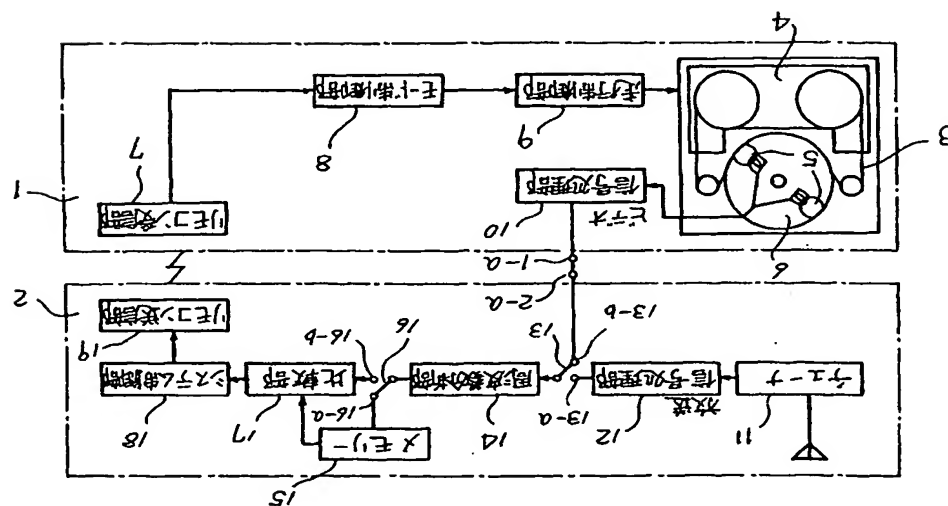
前記音声信号の変化を検出する音声変化検出手段と、少なくとも前記音声変化検出手段の検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

前記切り換え部分検出手段により検出された切り換え部分検出結果を用いて、番組の切り換え部分を検出する切り換え部分検出手段と、

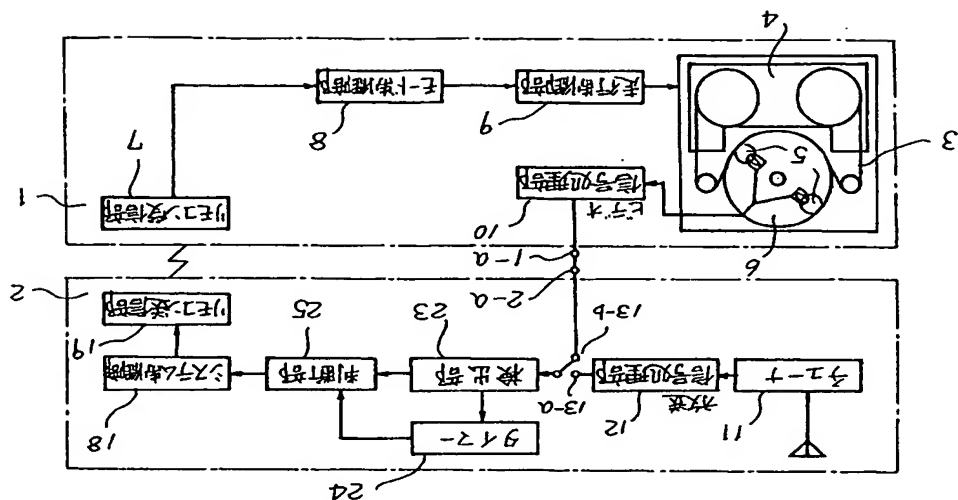
【第2図】



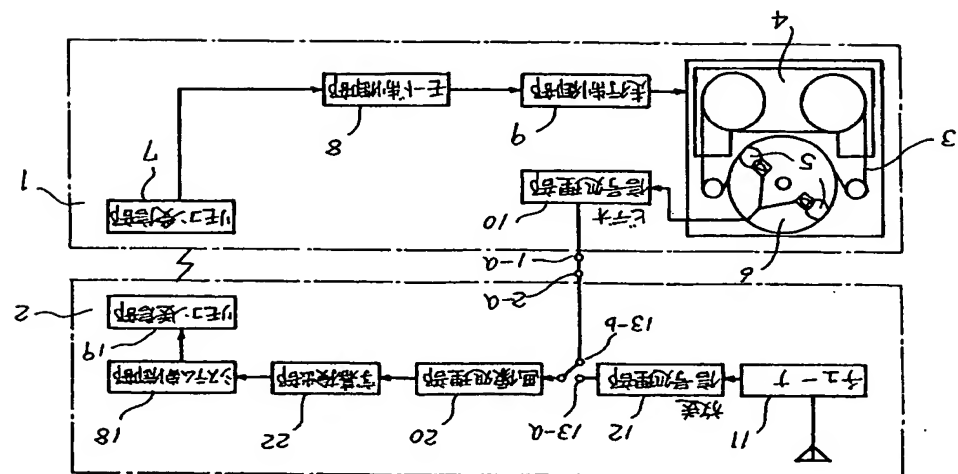
【第1図】



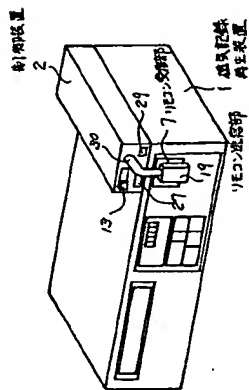
【第4図】



【第3図】



【第7図】



【第8図】

